

特集

みんなのCBT

社会実装の未来とニュー・フロンティア

1 みんなのCBT——制度変革と社会実装を目指して

- 127 未来への道標 ● 石垣琢磨
- 132 エビデンス主義精神療法の功罪 ● 藤澤大介
- 137 「みんなのCBT」を診療報酬から考える——公認心理師と看護師に焦点をあてて ● 伊藤正哉・岡田佳詠・丹野義彦・久我弘典
- 142 ITにサポートされた認知療法——アクセシビリティを高める ● 吉永尚紀

2 CBTのニュー・フロンティア——挑戦的萌芽実践ガイド

実践ガイド① | 人生を豊かにする

- 147 リカバリーを目指す認知療法の発展から考える認知行動療法と希望 ● 耕野敏樹
- 152 パーソン・ベースド認知療法——生きづらさを解きほぐす ● 南学正仁
- 157 おとなの自閉スペクトラム症のCBT (ACAT)——特性と社会の折り合いをつける ● 大島郁葉

実践ガイド② | 大人も子どももケアする

- 163 不安症の子どもに支援を届ける——保護者主導型CBTの可能性 ● 大川 翔
- 168 学校現場で行うCBTに基づく予防教育——通常学級における不安予防教育プログラム「勇者の旅」の展開 ● 浦尾悠子
- 173 「普通の人」とマインドフルネス——職域でのマインドフルネスプログラムの社会実装を考える ● 山田成志

実践ガイド③ | 萌芽的技法をインストールする

- 178 反すう焦点化認知行動療法——うつ・不安の「ぐるぐる思考」をケアする ● 梅垣佑介
- 182 青少年期のトラウマに対する認知処理療法の開発と臨床的展開 ● 片柳章子・牧田 潔
- 188 身体集中反復行動への支援というニュー・フロンティア (未開拓領域) ● 石川亮太郎
- 193 VRを活用したメンタルヘルスケアの有効性と展望 ● 山下裕子・山本哲也

3 CBT実践者のニュー・ジェネレーション——教育・訓練の実装

- 197 オフィシャルに学ぶ——厚生労働省認知行動療法研修事業の取り組み ● 浜村俊傑・野網 恵・三田村康衣・久我弘典
- 202 仲間と学ぶ——CBTpネットワークによるグループ動画勉強会の実践と意義 ● 濱家由美子・葉柴陽子
- 207 自分を磨く——実践から内省への自己プログラム (SP/SR) ● 佐々木淳

◎ 投稿

【原著論文】

- 213 メンタルヘルス不調を抱えながらも援助要請が生じにくい労働者の心理的特徴 ● 大橋英永

◎ 連載

スクールカウンセラーのはじめかた

- 227 第6回「不登校を理解する——不登校支援③」 ● 上田勝久

◎ リレー連載

臨床心理学・最新研究レポート シーズン3

- 234 第57回「どうして穴だらけがこわいのか?——トライポフォビア研究についての概説と動向」 ● 山田祐樹

主題と変奏——臨床便り

- 238 第77回「未来のために源流を見つめる」 ● 古橋拓也

◎ 追悼

- 239 神村栄一先生を偲んで ● 嶋田洋徳

◎ 書評

- 240 東畑開人 著『カウンセリングとは何か——変化するということ』 ● 評者:菅田雄介
- 241 バトリシア・A・リーシックほか 著『トラウマから自由になる——自分を取り戻すための認知処理療法』 ● 評者:鶴田信子
- 242 田中健史朗 著『カウンセラーの自己開示——迷える援助者のための羅針盤』 ● 評者:福島哲夫
- 243 山崎孝明 編『POST (精神分析的サポートセラピー) を描く——さまざまな現場・対象における実践』 ● 評者:諏訪淳哉
- 244 日本認知・行動療学会 編『認知行動療法ケースブック——主要疾患・実践領域の援助技法を学ぶ』 ● 評者:岡島 義
- 245 齋藤 梓 ほか 編著『ジェンダーにセンシティブでありたい心理臨床家のために』 ● 評者:松森基子
- 246 大島郁葉 著『おとなの自閉スペクトラム症の心理カウンセリング』 ● 評者:井手正和

211 次号予告

225 実践研究論文の投稿のお誘い

247 投稿規定

248 編集後記